



International Symposium **2**
文化交渉学の構築 I

—‘西学東漸’と東アジアにおける
近代学術の形成—

グローバルCOEプログラム・関西大学文化交渉学教育研究拠点 (ICIS: Institute for Cultural Interaction Studies) は、東アジアにおける文化交渉の諸相を人文学の諸分野から研究するプロジェクトです。その対象は、東アジア内部での文化交渉だけでなく、東アジアとそれ以外の地域との交渉も含まれます。

今回の国際シンポジウムは、グローバルな文化交渉の一例として、ウェスタン・インパクト以後の東西両世界における近代学術の形成をテーマとして取り上げます。

東アジアにおける近代学術の形成には、二つの側面があると考えます。一つは、西の学問との接触によって新たに形成が促進された側面です。もう一つは、そのように形成された学術が伝統的学術と接合・融合していった側面です。

また、東西両世界の接触は、東に近代学術の形成をもたらしただけでなく、西の学術にも何らかのリバウンドを引き起こしたことが想定されます。

そこで、私たちは、シンポジウムにおいて2つのセッションを準備しています。一つは、「西からのまなざし」と題して、近代以降のヨーロッパにおける東アジア研究の歩みを振り返るものです。もう一つは、「東アジアの東洋認識」と題して、東アジア諸地域が自らを研究する学問分野をどのように形成していったかを探求するものです。

2008.10.24 (金) - 25 (土)

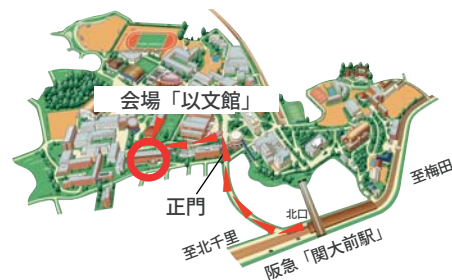
関西大学 以文館 4階 セミナースペース

PROGRAM 10/24(金) 10/25(土)

| | |
|---------------------------|---|
| 10:00-10:15 | 開会挨拶 河田悌一 (関西大学長) 趣旨説明 藤田高夫 (関西大学ICIS) |
| 基調講演 | |
| 10:15-11:00 | 中見立夫 (東京外国語大学 A・A 研) 『元朝秘史』渡来のごころ —日本における「東洋史学」の開始と ヨーロッパ・東洋学、清朝「辺疆史地学」との交差— |
| 11:05-12:05 | 張西平 (北京外国語大学) ヨーロッパ人宣教師のシノロジー —A・キルヒャーとM・ボイムを中心に— |
| セッション1 西からのまなざし | |
| 13:30-14:30 | W.J.Boot (ライデン大学) シーボルト、ホフマンとその弟子 —ライデンにおける東洋学の伝統— |
| 14:40-15:40 | 李雪濤 (北京外国語大学) 民国時代の北平における ドイツ人シノロジスト |
| 15:50-16:20 | 野間晴雄 (関西大学ICIS) 東洋の植物を求めて —植物園・プラントハンター・園芸家の 文化交渉学— |
| 16:20-16:50 | コメント：内田慶市 (関西大学ICIS) 高橋誠一 (関西大学ICIS) |

| | |
|------------------------------|--|
| セッション2 東アジアの「東洋」認識 | |
| 10:00-11:00 | Stefan Tanaka (カリフォルニア大学・サンディエゴ) Time and the Paradox of the Orient |
| 11:05-12:05 | 沈国威 (関西大学ICIS) 嚴復と「科学」 |
| 12:05-12:30 | コメント：藤田高夫 |
| 特別講演 | |
| 13:30-15:00 | 鄒逸麟 (復旦大学) 清代における疆土・版図観念 の変遷について |
| パネルディスカッション 総合討論 | |
| 15:15-16:15 | |

ACCESS MAP



阪急電鉄・地下鉄堺筋線で「北千里」行乗車で直行。関大前駅で下車。※関大前駅から関西大学までは徒歩約5分。

INFORMATION

参加は無料ですが、事前に参加申し込みをお願いします。ご希望の方は「所属・役職・氏名」を下記までご連絡下さい。

MAIL: coekyoten@jm.kansai-u.ac.jp
FAX: 06-6368-0235
TEL: 06-6368-0256

関西大学文化交渉学教育研究拠点
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
MAIL: coekyoten@jm.kansai-u.ac.jp
URL: http://www.icis.kansai-u.ac.jp/